

2019年7月4日
一般社団法人 新金属協会
化合物半導体部会
部会長 鈴木 健彦
DOWA エレクトロニクス株式会社
化合物半導体部 事業部長

平成 30 年度通期の化合物半導体の出荷統計について

2018 年度通期（2018 年 4 月～2019 年 3 月）の化合物半導体材料の出荷統計がまとまりましたので別紙の通り発表いたします。

2018 年度通期（2018 年 4 月～2019 年 3 月）の化合物半導体製品の出荷額は、262 億円となりました。結晶別では、主要 3 品目のすべてで減少致しました。用途別では LD が増加、可視 LED、赤外 LED、その他で減少致しました。

1.GaAs

2018 年度通期の GaAs の売上高は、166 億円となり、国内、海外ともに減少しました。GaAs の主な用途市場はスマートフォン等に使用される高周波デバイス、また各種の表示機器やセンサ等に使用される可視・赤外 LED、および光ディスク・加工機・センサ等に使用されるレーザダイオード (LD) 等がありますが、2018 年度の結果は国内外の多くの用途で、需要が減少したことによると推察しています。

2.GaP

2018 年度通期の GaP の売上高は、22 億円となり、国内、海外ともに減少しました。GaP 系および GaAsP 系 LED を用いた車載、家電等の可視 LED 用途市場の需要落ち込みの影響が大きく、更に高輝度 AlInGaP 系や GaN 系 LED への従来からの置き換えが進んだ結果と推察しています。

3.InP

2018 年度通期の InP の売上高は、61 億円となり、国内は増加したものの、海外は減少し、全体としては微減となりました。InP の主要な用途である光通信用の受発光素子の所要を反映した結果と推察しています。

<お問い合わせ先>
半導体事業部 副部長
池田 浩也
電話-03-6847-1253 Fax 03-6847-1260
e-mail : ikedah2@dowa.co.jp